

## 2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月11日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東  
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demae-can.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 哲  
 問合せ先責任者(役職名) 財務経理部長 (氏名) 小林 元樹 (TEL) 050-5445-5390  
 定時株主総会開催予定日 2024年11月26日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	50,411	△2.0	△5,991	—	△5,853	—	△3,705	—
2023年8月期	51,416	8.7	△12,259	—	△12,122	—	△12,154	—

(注) 包括利益 2024年8月期 △3,737百万円(—%) 2023年8月期 △12,156百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△28.19	—	△9.4	△11.4	△11.9
2023年8月期	△92.25	—	△25.2	△19.6	△23.8

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 116百万円 2023年8月期 86百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	47,943	36,548	76.2	295.09
2023年8月期	54,746	42,340	77.3	320.16

(参考) 自己資本 2024年8月期 36,548百万円 2023年8月期 42,335百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	△4,582	2,187	△3,999	34,511
2023年8月期	△12,290	△64	△0	40,906

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

(注) 2025年8月期(予想) 配当金につきましては無配とさせていただきます。

## 3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	53,000	5.1	1	—	13	—	1	—	0.01

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年8月期	132,421,230株	2023年8月期	132,421,230株
② 期末自己株式数	2024年8月期	8,566,905株	2023年8月期	189,517株
③ 期中平均株式数	2024年8月期	131,472,546株	2023年8月期	131,753,229株

(参考) 個別業績の概要

2024年8月期の個別業績 (2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	50,406	△1.9	△5,959	—	△5,906	—	△3,505	—
2023年8月期	51,404	9.8	△12,166	—	△11,581	—	△12,093	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年8月期	△26.66		—					
2023年8月期	△91.79		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2024年8月期	47,995		36,662		76.4	296.01		
2023年8月期	54,522		42,254		77.5	319.51		

(参考) 自己資本 2024年8月期 36,662百万円 2023年8月期 42,249百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2024年10月11日 (金) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきまして、当社ミッション「テクノロジーで時間価値を高める」、ビジョン「地域の人々の幸せをつなぐライフインフラ」の達成に向け、フード及びノンフード領域における加盟店ラインナップの拡充や配達時間の精度向上並びに配達・カスタマーサービスの品質等サービス体験の改善を積み重ねることで、ユーザー、配達員、加盟店の満足度向上・定着化を図ってきました。今後も、多くのユーザー、配達員、加盟店から「選ばれるプラットフォーム」となるために、日々ユーザー体験を向上させ、「デリバリーの日常化」を実現してまいります。また、新規事業においても2024年8月よりLINEヤフー株式会社と、生鮮食品や日用品などを最短30分で届ける「Yahoo!クイックマート」の提供を開始いたしました。

コスト面におきましては、売上原価の適正化は順調に進み、売上総利益率は23.0%（前期は20.4%）と改善が進みました。広告宣伝費につきましても引き続きマーケットのトレンドを注視しながら、投資対効果を重視した施策を行っています。

その結果、当連結会計年度の売上高は50,411百万円（前期比2.0%減）、営業損失は5,991百万円（前期は12,259百万円の営業損失）、経常損失は5,853百万円（前期は12,122百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は3,705百万円（前期は12,154百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

なお、当社グループは、「出前館事業」の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で6,748百万円減少し、47,544百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が6,395百万円減少し、未収入金が2,009百万円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で55百万円減少し、398百万円となりました。主な要因は、投資有価証券が317百万円減少、差入保証金が269百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で6,803百万円減少し、47,943百万円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で1,076百万円減少し、11,231百万円となりました。主な要因は、未払金が1,327百万円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で64百万円増加し、163百万円となりました。主な要因は、その他が64百万円増加したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で1,011百万円減少し、11,395百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で5,791百万円減少し、36,548百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純損失3,705百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、34,511百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,395百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、4,582百万円（前連結会計年度は12,290百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、税金等調整前当期純損失3,724百万円、未収入金の減少2,009百万円、未払金の減少1,362百万円等によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、2,187百万円（前連結会計年度は64百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、投資有価証券の売却による収入2,461百万円、敷金及び保証金の差入による支出307百万円等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、3,999百万円（前連結会計年度は0百万円の減少）となりました。主な増減の内訳は、自己株式の取得による支出2,049百万円、自己株式取得のための預け金の増加1,950百万円等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率	80.3	32.2	78.4	77.3	76.2
時価ベースの自己資本比率	536.6	628.1	113.4	97.3	68.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

・自己資本比率：自己資本/総資産

・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

2025年8月期の見通しにつきましては、引き続き「出前館事業」の拡大を通じて「デリバリーの日常化」を押し進めてまいります。出前館のステークホルダーであるユーザー・加盟店・配達員、それぞれのデリバリー体験が向上するためのプロダクトやサービスの改修に注力すると共に、費用の適正化を図って収益面の改善も進めてまいります。

こうした状況を踏まえ、2025年8月期の連結業績予想は、現時点で想定しうる範囲内において売上高は530億円(前年比105%)、営業利益は1百万円を見込んでおります。

記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、積極的な事業展開のもと、経営基盤の強化、経営効率の改善を図ることにより企業価値を高め、株主の皆様に対して継続的かつ安定的に利益還元を図ることを基本方針としております。将来に向けた積極的な投資を行いつつも、配当性向は30%を目安とし、安定的に継続して実施することを目指しております。

当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本的な方針としております。なお、会社の業績に応じた株主の皆様への利益還元を柔軟に実施するため、当社は「毎年2月末日を基準日として、取締役会の決議をもって、株主または登録株式質権者に対し、中間配当として剰余金の配当を行うことができる」旨を定款に定めており、これらの剰余金の配当については、取締役会を決定機関としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの多くの利害関係者は、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,906	34,511
受取手形及び売掛金	158	105
未収入金	12,414	10,405
その他	898	2,577
貸倒引当金	△86	△55
流動資産合計	54,292	47,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3	3
減価償却累計額	△3	△3
建物及び構築物(純額)	—	—
その他	103	73
減価償却累計額	△103	△73
その他(純額)	—	—
有形固定資産合計	—	—
投資その他の資産		
投資有価証券	320	3
差入保証金	126	395
繰延税金資産	7	—
その他	6	4
貸倒引当金	△6	△3
投資その他の資産合計	454	398
固定資産合計	454	398
資産合計	54,746	47,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	11,626	10,299
未払法人税等	21	12
賞与引当金	35	63
販売促進引当金	—	300
その他	624	556
流動負債合計	12,307	11,231
固定負債		
その他	98	163
固定負債合計	98	163
負債合計	12,406	11,395
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	54,166	54,166
利益剰余金	△11,959	△15,665
自己株式	△3	△2,053
株主資本合計	42,303	36,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	—
その他の包括利益累計額合計	32	—
新株予約権	4	—
純資産合計	42,340	36,548
負債純資産合計	54,746	47,943

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	51,416	50,411
売上原価	40,909	38,803
売上総利益	10,507	11,608
販売費及び一般管理費	22,767	17,600
営業損失(△)	△12,259	△5,991
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	1	—
貸倒引当金戻入額	—	0
受取保険金	4	—
受取和解金	8	31
持分法による投資利益	86	116
助成金収入	23	16
その他	20	6
営業外収益合計	146	174
営業外費用		
為替差損	3	0
新株発行費	3	—
損害賠償金	0	4
寄付金	—	30
その他	1	1
営業外費用合計	8	35
経常損失(△)	△12,122	△5,853
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	—	2,124
新株予約権戻入益	6	4
特別利益合計	8	2,128
特別損失		
持分変動損失	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前当期純損失(△)	△12,115	△3,724
法人税、住民税及び事業税	21	12
法人税等調整額	17	△30
法人税等合計	38	△18
当期純損失(△)	△12,154	△3,705
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△12,154	△3,705



## 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純損失(△)	△12,154	△3,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△32
その他の包括利益合計	△2	△32
包括利益	△12,156	△3,737
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△12,156	△3,737
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	112,269	△58,184	△3	54,181
当期変動額					
新株の発行	275				275
資本金から準備金又は剰余金への振替	△275	275			—
欠損填補		△58,378	58,378		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△12,154		△12,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△58,102	46,224	—	△11,878
当期末残高	100	54,166	△11,959	△3	42,303

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34	34	9	54,225
当期変動額				
新株の発行				275
資本金から準備金又は剰余金への振替				—
欠損填補				—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△12,154
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	△2	△4	△7
当期変動額合計	△2	△2	△4	△11,885
当期末残高	32	32	4	42,340

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100	54,166	△11,959	△3	42,303
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△3,705		△3,705
自己株式の取得				△2,049	△2,049
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	△3,705	△2,049	△5,755
当期末残高	100	54,166	△15,665	△2,053	36,548

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	32	32	4	42,340
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△3,705
自己株式の取得				△2,049
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△32	△32	△4	△36
当期変動額合計	△32	△32	△4	△5,791
当期末残高	—	—	—	36,548

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失 (△)	△12,115	△3,724
株式報酬費用	233	233
固定資産売却損益 (△は益)	△2	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,124
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	49	△33
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	28
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	—	300
受取利息及び受取配当金	△2	△3
新株発行費	3	—
持分法による投資損益 (△は益)	△86	△116
助成金収入	△23	△16
受取和解金	—	△31
売上債権の増減額 (△は増加)	△59	56
前払費用の増減額 (△は増加)	411	△125
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,061	34
棚卸資産の増減額 (△は増加)	17	0
未収入金の増減額 (△は増加)	917	2,009
未払金の増減額 (△は減少)	△2,990	△1,362
その他	364	65
小計	△12,207	△4,809
利息及び配当金の受取額	16	50
法人税等の支払額	△125	△21
法人税等の還付額	2	148
助成金の受取額	23	16
和解金の受取額	—	31
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,290	△4,582
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の売却による収入	2	—
投資有価証券の売却による収入	—	2,461
資産除去債務の履行による支出	△45	—
敷金及び保証金の差入による支出	△72	△307
敷金及び保証金の回収による収入	51	33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64	2,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△2,049
預け金の増減額 (△は増加)	—	△1,950
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△3,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,355	△6,395
現金及び現金同等物の期首残高	53,262	40,906
現金及び現金同等物の期末残高	40,906	34,511

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	出前館事業	合計
出前館サービス利用料	47,550	47,550
その他	3,866	3,866

(注) 当連結会計年度より、製品及びサービスごとの情報を現在の事業戦略と照らし合わせ、2つの区分に変更しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	出前館事業	合計
出前館サービス利用料	45,299	45,299
その他	5,112	5,112

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	320.16円	295.09円
1株当たり当期純損失(△)	△92.25円	△28.19円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	42,340	36,548
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	4	—
(うち新株予約権(百万円))	(4)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	42,335	36,548
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	132,231,713	123,854,325

3. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△12,154	△3,705
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△12,154	△3,705
期中平均株式数(株)	131,753,229	131,472,546
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。